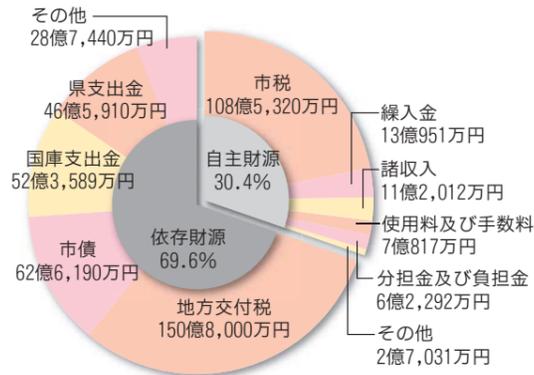


# 平成28年度一般会計予算 489億9,552万円

## 歳入



◆歳入予算額内訳 (単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
<b>自主財源</b>			
市税	108億5,320	22.1%	△0.6%
市民税	42億5,045	8.7%	△2.9%
固定資産税	55億9,916	11.2%	3.4%
軽自動車税	2億9,416	0.6%	12.3%
市たばこ税	6億7,664	1.4%	△0.4%
その他	1億2,279	0.2%	5.3%
繰入金	13億951	2.7%	129.0%
諸収入	11億2,012	2.3%	△16.4%
使用料及び手数料	7億817	1.4%	△7.6%
分担金及び負担金	6億2,292	1.3%	3.5%
その他	2億7,031	0.5%	1386.6%
寄附金	2億2,300	0.5%	1386.6%
財産収入	4,731	0.1%	△5.3%
小計	148億8,423	30.4%	4.3%
<b>依存財源</b>			
地方交付税	150億8,000	30.8%	△2.3%
市債	62億6,190	12.8%	44.0%
国庫支出金	52億3,589	10.7%	△2.6%
県支出金	46億5,910	9.5%	5.2%
地方消費税交付金	17億8,980	3.7%	13.8%
地方譲与税	8億3,060	1.7%	6.8%
自動車取得税交付金	1億950	0.2%	△1.7%
配当割交付金	4,540	0.1%	182.0%
地方特例交付金	3,080	0.1%	8.5%
株式等譲渡所得割交付金	2,370	0.0%	207.8%
利子割交付金	1,560	0.0%	2.0%
ゴルフ場利用税交付金	1,450	0.0%	6.6%
交通安全対策特別交付金	1,450	0.0%	22.9%
小計	341億1,129	69.6%	6.2%
合計	489億9,552	100.0%	5.6%

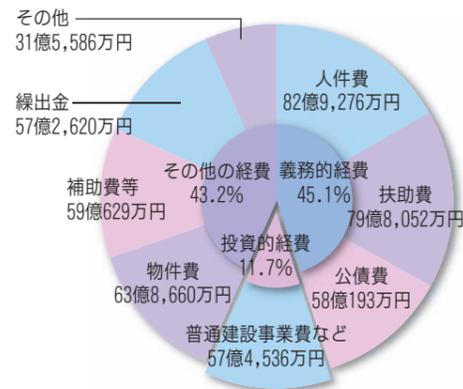
### ◆用語解説

**自主財源**…市に納められる税金や施設の使用料、住民票の交付手数料など  
**依存財源**…市の財政力に応じて国から交付される地方交付税や国・県補助金、市債など  
**地方交付税**…全ての市町村が一定水準の行政サービスを提供できるように、国税(所得税、酒税など)から配分されるお金  
**国庫支出金・県支出金**…特定の事業の財源の一部として、国・県から支出されるお金  
**市債**…公共施設の整備などのために、長期に借り入れるお金

## 歳出

◆歳出予算額内訳 (※性質別歳出) (単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
<b>義務的経費</b>			
人件費	82億9,276	16.9%	5.2%
扶助費	79億8,052	16.3%	1.1%
公債費	58億193	11.8%	△2.5%
元金	53億1,827	10.9%	△1.5%
利子	4億8,366	1.0%	△12.1%
小計	220億7,521	45.1%	1.6%
<b>投資的経費</b>			
普通建設事業費	57億4,336	11.7%	25.2%
災害復旧事業費	200	0.0%	0.0%
小計	57億4,536	11.7%	25.2%
<b>その他の経費</b>			
物件費	63億8,660	13.0%	△5.5%
補助費等	59億629	12.1%	16.5%
繰出金	57億2,620	11.7%	2.6%
投資及び出資貸付金	15億7,994	3.2%	36.7%
維持補修費	10億794	2.1%	△2.4%
積立金	5億2,798	1.1%	18.1%
予備費	4,000	0.1%	0.0%
小計	211億7,495	43.2%	5.4%
合計	489億9,552	100.0%	5.6%



### ◆用語解説

**義務的経費**…人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費  
**投資的経費**…道路や学校など、将来に残るものに対する経費  
**その他の経費**…上記二つ以外の経費で、物件費(賃金、委託料、物品の購入、施設の光熱費などの経費)や補助費等(事務組合・各種公益団体に対する負担金・補助金などの経費)など

### ※性質別歳出

歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。

# 平成28年度 当初予算のあらまし

3月市議会定例会で、平成28年度当初予算が審議・可決されました。本年度の一般会計予算は、平成18年に新市が誕生して以降、最大規模となる489億9552万円。前年度当初予算比で25億9345万円、5.6%増の積極型予算として編成しました。

### まちづくりに向けた取り組み

本年度の予算は、まちづくり総合計画第1期中期プランで掲げた「人口減少対策」「市街地の再生」「交流人口の拡大」「防災力の強化」の四つの重点戦略を念頭に、各事業の緊急度、必要性を検討しながら、限られた財源の中で可能な限り事業化を図り編成しました(本年度の主要事業については、4、5ページに掲載)。

### 各種財源を最大限活用し編成

湯口・大迫中学校校舎改築、道

### ■歳入について

地域医療総合確保事業や国体

路や橋の整備など各種ハード事業をはじめ、第71回国民体育大会、宮沢賢治生誕120年記念事業などの各種イベント、地方創生に向けた事業費などを計上しています。これら事業の実施に当たっては、国・県補助金などの財源確保に努めるとともに、返還額の7割が国の地方交付税に算定される合併特例債や過疎対策事業債といった財政上有利な市債を最大限活用し編成しました。

### ■歳出について

湯口・大迫中学校の改築、イーハトーブ養育センターや(仮称)大迫学校給食センター、生活道路、介護施設等の整備などに要する費用を計上しています。また、臨時保育士などを任期付き職員としたことで、これまで短期的な賃金として物件費に分類していた分を、人件費として計上しています。そのほか、いわて国体の市実行委員会への負担金や国営土地改良事業償還金、市内企業への地域総合整備資金貸付など大幅な事業費の増額を見込んでいます。

※文中の用語「市債」「地方交付税」については、左ページで説明しています

### ■平成28年度各会計予算の総括表

区分	28年度 予算額	27年度 予算額	増減額	増減率	28年度末 市債残高 見込み	27年度末 市債残高 見込み	増減額
一般会計	489億9,552	464億207	25億9,345	5.6	553億7,997	544億3,634	9億4,363
国民健康保険	108億4,774	113億3,265	△4億8,491	△4.3	—	—	—
特別後期高齢者医療	18億9,861	19億1,447	△1,586	△0.8	—	—	—
介護保険	101億9,319	98億7,968	3億1,351	3.2	—	—	—
会公設地方卸売市場事業	7,086	1億4,547	△7,461	△51.3	1億5,082	1億8,252	△3,170
計下水道事業(※)	—	40億5,424	△40億5,424	皆減	—	308億2,799	△308億2,799
農業集落排水等汚水処理事業	15億835	16億1,156	△1億321	△6.4	135億4,325	138億8,510	△3億4,185
公営企業会計(下水道事業)	52億2,916	—	52億2,916	皆増	302億7,063	—	302億7,063
合計	787億4,343	753億4,014	34億329	4.5	993億4,467	993億3,195	1,272

※下水道事業はこれまで一般会計などと同じく、実際の現金の収支に対応して処理を行う「単式簿記」による経理方法でしたが、平成28年度から公営企業会計に変更し、一般の会社と同じように現金以外の収支や資産、負債の変動なども記録する「複式簿記」による経理を行います

## 人づくり

郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ心豊かな市民が育つまち

政策	事業名	予算額	内容
子育て環境の充実	発達支援事業	2,993万円	乳幼児の発達障がいの総合的な指導・援助を行うこども発達相談センターを運営するとともに、同センターの改築整備に着手します。
	放課後児童支援事業	2億1,879万円	学童クラブの開所や新設整備への支援、「放課後子ども教室」の開設により、児童の安心安全な居場所づくりと地域との交流促進を図ります。
	奨学金活用人材確保支援事業<<新規>>	53万円	市奨学金の返還者で、市内認可保育園で勤務している保育士と、市内大学を卒業後に市内に居住している方に対し、返還金の半額を補助することで人材確保と定住化を促進します。
	心身障がい児医療費助成事業<<新規>>	171万円	中軽度の障がいのある中学生から18歳未満の障がい児の医療費の負担軽減を図るため、保護者に対し医療費の一部を助成します。
	公立保育園再編事業<<新規>>	1,004万円	公立保育園の一部について、民営化により運営する法人の公募・選定を実施し、公立園の移管に当たっては運営法人との引き継ぎ保育を実施します。
学校教育の充実	湯口中学校校舎改築事業 大迫中学校校舎改築事業	14億3,514万円	老朽化した湯口・大迫中学校の校舎の安全確保のため、学校の適正規模を見直し、安全・快適な教育環境を整備します。
	学校地域連携事業<<新規>>	254万円	学校・家庭・地域の連携・協働による学校支援活動を実施するため、二つの中学校区に地域コーディネーターを配置します。
	(仮称)大迫学校給食センター整備事業<<新規>>	1億6,155万円	大迫地区小中学校4校に給食を提供する給食センターを整備します。
生涯学習の推進	国際姉妹都市等交流推進事業	1,438万円	各種海外派遣研修・交流事業のほか、米国ラットランド市との姉妹都市提携30周年記念事業によりさらなる交流を図ります。
芸術文化の振興	宮沢賢治生誕120年記念事業<<新規>>	8,191万円	宮沢賢治生誕120年の節目として、宮沢賢治をあらためて顕彰し、「賢治のまち花巻」を広く発信するため、各種記念事業を開催します。
	高村光太郎記念館企画展示事業 整備事業<<新規>>	2,184万円	高村光太郎没後60年、妻智恵子生誕130年の節目として、記念講座や企画展を開催するほか、記念館周辺の展望台や遊歩道などの環境整備を行います。
	全国神楽大会開催事業<<新規>>	400万円	早池峰神楽の国重要無形民俗文化財指定40周年を記念し、全国各地で伝承されている神楽の団体を招待し、相互交流とお披露目を行います。

## 地域づくり

すべての市民が手と心をつなぐ、個性あふれる自立したまち

政策	事業名	予算額	内容
地域主体のまちづくり	移住・定住促進等対策事業	764万円	本市への移住定住を進めるため、首都圏でのPR活動のほか、移住体験ツアーや同窓会の開催支援などを実施します。
	地域おこし促進事業	4,248万円	都市部の人材を「地域おこし協力隊」として採用し、地域活性化に向けた活動や情報発信などを通して地域力の維持・強化を図ります。
	シティプロモーション推進事業<<新規>>	874万円	移住先としての本市の魅力を発信するため、市民参加型のワークショップや首都圏でのプロモーションイベントなどを実施します。

## 平成28年度

# 主要事業を紹介します

本年度に実施する新規事業など、主な事業を「しごと」「暮らし」「人づくり」「地域づくり」の四つの分野に分けて紹介します。

※平成28年度予算書、事業の概要をまとめた資料は、本庁財政課、各振興センター、各市立図書館に備え付けているほか、市ホームページに掲載しています



## しごと

仕事いっぱい、雇用がいっぱい、活気に満ちたまち

政策	事業名	予算額	内容
農林業の振興	担い手育成支援事業	6,072万円	新規就農希望者等を対象とした農業体験ツアーや、首都圏からの女性就農希望者の発掘などを行い、地域農業の担い手を育成します。
	スマートアグリ推進事業<<新規>>	1,605万円	情報通信技術を活用した効率的な農業経営の推進のため、GPS電波を利用した農作業に必要なGPS地上基地局を設置します。
観光の振興	観光ルート整備事業	2,540万円	市内に宿泊する団体バスツアーへの補助、北海道新幹線の開業に合わせた観光ルートの運行を支援するなど、観光客の利便性向上を図ります。
農工商連携の推進	地域イノベーション戦略事業<<新規>>	204万円	地元企業が活躍できるビジネス環境を創出するため、企業間連携による新製品の開発支援や、花巻版ビジネスアイデアグランプリの開催による創業支援を実施します。

## 暮らし

自然豊かな地域で共に支え、誰もが安心して、いきいきと快適に暮らすまち

政策	事業名	予算額	内容
環境の保全	早池峰地域活性化事業<<新規>>	1,791万円	早池峰山の登山道や遊歩道などの環境整備を行い、登山者の安全確保と新たな早池峰ファンの獲得を図ります。
生活基盤の充実	道の駅整備調査事業<<新規>>	540万円	安全で快適な交通環境を提供するため、道の駅設置に向けた検討を行います。
	都市再生推進事業<<新規>>	6,815万円	旧エセナ跡地の広場整備に着手します。また、総合花巻病院移転整備に係る実施設計費の一部を補助するための予算を計上しています。
	空家等対策事業<<新規>>	508万円	市内全域の空家の実態を調査し、データベースを整備します。
福祉の充実	イーハトーブ養育センター整備事業	3億4,490万円	障がい児の通所支援施設の機能向上のため、老朽・狭あい化したイーハトーブ養育センターの改築整備を支援します。
健康づくりの推進	大迫生活習慣病対策30周年記念事業<<新規>>	104万円	旧大迫町で開始された大迫家庭血圧測定事業の30周年の節目として、これまでの取り組みを広く周知し、健康づくりへの意識向上を図ります。